

# 令和元年度事業報告

## 概 要

急速な超高齢社会・少子社会の進展、家庭や地域のつながりの希薄化による社会的孤立、子供の貧困と虐待、更には自然災害の多発など、地域社会には様々な生活諸問題が生じています。

地域福祉の中核的役割を担う本会においては、地域福祉推進の指針となる第2期壬生町地域福祉計画と併せて策定した第2期壬生町地域福祉活動計画（令和元年度～5年度）を基に、住民を始め関係機関及び関係団体と協力し、地域福祉に関する各種福祉事業や小地域福祉活動を積極的に展開しました。

特に本年度は、10月の台風19号に伴う大雨災害発生に対し、町内避難所への物資供給及び浸水世帯へのボランティア派遣と併せ、町外の被災世帯に対してもボランティアの派遣を行い、生活基盤の立て直しの支援を行いました。

防災対策におきましても、日本赤十字社の協力を得て「防災セミナー」を町内各地で開催し、地域における防災意識の向上を図りました。

障がい者関係事業としては、就労支援施設「むつみの森」及びこども発達支援センター「ドリームキッズ」の指定管理者（平成28年度～令和2年度）として、また2ヵ所の児童クラブを受託し、放課後児童の健全育成に向けて安定的かつ効率的な事業の運営に力を注ぎ、組織基盤や財政基盤の健全化を図り、住民から信頼される施設となるよう努めました。

以下、本年度の実施状況につきましては、次のとおりです。

会議・監査会

(1) 理事会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	5月28日	理事 12名 監事 2名	(1) 会長及び常務理事の業務執行状況について(報告) (2) 会長専決事項について(報告) (3) 平成30年度事業報告について (4) 平成30年度決算について (5) 評議員会の開催について (6) 評議員選任・解任委員会の開催について (7) 評議員候補者の推薦について (8) 評議員選任・解任委員の選任について
第2回	6月18日	理事 10名 監事 2名	(1) 会長の選定について (2) 副会長の選定について (3) 常務理事の選定について (4) 評議員選任・解任委員会の開催について (5) 評議員候補者の推薦について (6) 評議員選任・解任委員の選任について
第3回	12月20日	理事 10名 監事 2名	(1) 会長専決事項について(報告) (2) 会長及び常務理事の業務執行状況について(報告) (3) 令和元年度資金収支補正予算(第1号)について (4) 評議員会の開催について (5) 第三者委員の選任について
第4回	2月26日	理事 13名 監事 2名	(1) 経理規程の一部改正について (2) 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について (3) 令和2年度事業計画について (4) 令和2年度資金収支予算について (5) 第3回評議員会の開催について (6) 令和2年度利益相反取引の承認について (7) 福祉施設管理者の任命について

(2) 評議員会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	6月18日	評議員 23名 監事 2名	(1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度決算について (3) 理事及び監事の選任について
第2回	1月17日	評議員 24名 監事 2名	(1) 令和元年度資金収支補正予算(第1号)について
第3回	3月19日 (決議の省略)	評議員 29名 監事 2名	(1) 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について (2) 令和2年度事業計画について (3) 令和2年度資金収支予算について (4) 理事の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	5月28日	委員 5名	(1) 評議員の選任について
第2回	6月18日	委員 5名	(1) 評議員の選任について

(4) 監査会

回	開催日	出席者数	監査内容
第1回	5月15日	監事 2名	(1) 平成30年度事業報告について

			(2) 平成30年度決算について
第2回	10月30日	監事 2名	(1) 令和元年度上半期事業報告について (2) 令和元年度上半期決算について

※ 税理士の会計指導を併せて実施した。

## 事業

### 1 法人運営

#### (1) 会員加入と会費の状況

会員区分	会費区分	会員数	会費額
普通会員	500円	9,599世帯	4,799,950円
特別会員	10,000円	39名	390,000円
賛助会員	5,000円	28名	140,000円
協力会員	2,000円	188名	376,000円
合計			5,705,950円

- (2) 寄付金 32件 計 609,694円  
(3) 福祉基金積立額 8,900万円(令和2年3月31日現在)  
(4) 高額寄付者表彰 被表彰者 2団体  
(5) 募金箱を公共施設、商店等に設置した。 10箇所  
(6) 物品寄付 18件(タオル等)  
(7) 社協だよりを発行 年4回

### 2 地域福祉活動事業

#### (1) 高齢者福祉活動

- ①介護保険外ホームヘルプ事業 月平均1名利用  
②車いすの貸出し事業

所有台数	貸出延べ回数	貸出中の台数
20台	34回	3台

- ③お達者サロンの自主的な運営の支援(参加者同士の交流と健康体操等の他、世代間交流事業を実施した。)

サロン名	会場名	開講年度	延参加人数	交流事業人数
睦地区お達者サロン	睦地区コミュニティーセンター	平成18年	330	65
安塚地区お達者サロン	安塚地区コミュニティーセンター	平成19年	951	
六美のぞみお達者サロン	のぞみホーム	平成21年	299	
下表町お達者サロン	下表町公民館	平成23年	395	
上田お達者サロン	上田公民館	平成24年	170	
あけぼのお達者サロン	あけぼの公民館	平成24年	399	
幸町1丁目お達者サロン	睦地区コミュニティーセンター	平成24年	343	38
原坪お達者サロン	原坪公民館	平成25年	215	
駅東サロンあやめ	駅東町公民館	平成25年	596	
東下台いきいきサロン	東下台公民館	平成25年	625	
城南お達者サロン	城南公民館	平成25年	339	
落合地区お達者サロン	落合公民館	平成25年	278	81
至宝地区お達者サロン	至宝公民館	平成25年	414	
西高野すみれお達者サロン	西高野公民館	平成26年	266	
交流館ふれあいイキイキサロン	ふれあい交流館	平成26年	424	
上稲葉イキイキサロン	稲葉地区公民館	平成26年	311	
万町お達者サロン	万町公民館	平成26年	810	
至宝夢サロン	十二支館(至宝南地区)	平成26年	222	
緑1・2お達者サロン	おもちゃのまち幼児公園等	平成27年	206	

北小林お達者ファミリー	北小林公民館	平成27年	272	66
むつみの郷(六美北部)	むつみの郷(個人宅)	平成29年	600	98
サロンあじさい(六美南部)	睦地区コミュニティセンター	平成29年	368	
幸町2丁目ゆずり葉お達者サロン	睦地区コミュニティセンター	平成29年	238	
憩のなかま	中通町公民館	平成30年	300	
下馬木お達者サロン	下馬木地区公民館	令和元年	141	
25ヶ所			9,512	348

- ④認知症高齢者介護者サロン開催への協力 6回
- ⑤高齢者見守りネットワーク事業(受託事業)  
・見守りチーム員のボランティア保険加入手続き 236名
- ⑥地域支え合い推進事業(受託事業)  
地域における高齢者の生活支援等サービスの活用を支援した。
- (2)障がい者福祉活動
- ①リフト付ワゴン車の貸出事業 7件
- ②視覚障がい者等に対する朗読テープ「声の広報」活動(町発行の広報、社協だより等の朗読活動 対象2名)
- (3)とちぎ権利擁護センター「あすてらす」への協力  
金銭管理サービス及び相談業務 生活支援員6名 利用者6名
- (4)特別援護者等への援助事業
- ①被災世帯への支援活動  
・災害ボランティアの派遣 3回延べ79名  
・見舞金支給12件(火災9件、水害3件)
- ②被災地支援ボランティア保険(天災Aタイプ)の助成 157名
- ③行路病者等の援助 2件
- ④生活困窮者への現物支給  
・アルファ米 3件(9食)  
・フードサポーター登録事業(新規登録者8名、利用者18名)
- ⑤学校制服リサイクル事業 協力者11名(76点)、利用者22名(71点)
- (5)団体支援事業(助成及び事務局)
- ①心身障害児者親の会事務局を担当。  
心身障害児者親の会は、会員相互の親睦と障がい者に対する理解と愛護思想の普及、関係団体との連絡調整を目的として、心身の障がい児者及び保護者と目的に賛同する者で組織されており、主にレクリエーション教室やお楽しみ会、また「心のとも鉛筆」販売運動を実施しています。  
会員数 31名
- ②ひまわり会(ひとり親家庭福祉会)事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。  
町在住のひとり親家庭及び寡婦家庭で組織され、母子及び父子並びに寡婦福祉法の理念に基づき会員相互の親睦と福祉の向上を目的に、研修及び講習会、高齢者施設訪問等を行っている。  
会員数 40名  
助成金 27,000円
- ③身体障害者福祉会事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。  
壬生町身体障害者福祉会は、会員相互の親睦と身体障がい者の福祉の増進を目的にしており、主な活動は各種研修会、お茶の販売を行っている。  
会員数 59名  
助成金 45,000円
- ④いきいき壬雷クラブ連合会及びシルバードライバークラブの事務局を支援し、運営費の一部助成を行う。  
いきいき壬雷クラブ連合会は、高齢者の福祉の増進を目的に、町内33の単位老人クラブで組織されており、グラウンド・ゴルフ大会、スポーツ大会、演芸大会を主な事業に据え、研修会や講習会を行い、単位老人クラブの育成指導、また会員相互の親睦を図っている。

会員数 1, 224名

助成金 315, 000円

⑤栃木市聴覚障害者協会の運営費の一部助成を行う。 5, 000円

(6) ボランティア活動の育成事業

①ボランティアセンター（ボランティアの登録、紹介活動）の運営

相談件数 309件

②ボランティア保険の加入促進と加入手続き事務を行う。

・加入団体数49団体、加入者数（個人含む）2, 051名、保険給付1件

③出前講座の実施 3件

④ボランティアグループ運営費の一部助成及び活動援助を行う。

壬生町ボランティア連絡協議会

壬生町朗読ボランティアグループひばり

壬生町点訳グループゆうがお

手話サークルたんぽぽ

手話サークルハーモニー

在宅福祉サービスこもれび

傾聴ボランティアグループきかせて

⑤高齢者疑似体験・福祉教材の貸出を行った。 4件

⑥介護予防ボランティア等育成・支援事業（受託事業）

・お達者サロンリーダー研修

開催 令和元年7月5日、令和元年12月3日

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 サロン事業等の協力者（リーダー）の育成

参加人数 54名

⑦エコキャップ収集活動

エコキャップ収集活動促進のための啓発活動（ポスター・パネル等）

(7) 福祉教育活動

①学校支援ボランティア推進事業への協力 研究会2回

②ハートふるる2 days（ボランティアスクール）共催

期日 令和元年12月27日

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 「のぞいてみよう 知的障がいの世界」  
知的障がい疑似体験、講話

参加人数 17名（壬生高校）

③みぶっ子ドキドキサマーキャンプ（児童文化教室）協賛

期日 令和元年7月27日

開催場所 嘉陽が丘ふれあい広場

内容 仲間づくりレクリエーション（子ども育成会事業への協力）

参加人数 37名

④車いすバスケットボール交流事業（小学生対象）

車いす利用者の講話と車いすバスケットボールの体験を行う。

開催日	会場	参加者
9月27日	壬生東小	63名
10月31日	壬生北小	16名
10月31日	安塚小	89名
11月5日	稲葉小	17名
11月6日	壬生小	116名
11月14日	睦小	56名
計	6回	357名

(8) 心配ごと相談事業（受託事業）

①心配ごと常設相談 相談件数13件

（家族関係6件、財産4件、その他3件）

- ②特別相談（弁護士相談）を年12回実施した。相談件数47件  
 （不動産関係3件、家庭関係11件、相続関係10件、金銭関係10件、その他13件）  
 (9)生活福祉資金貸付事業（県社協扱い）  
 相談件数 87件 新規貸付 2件(特例緊急小口1件、特例総合支援資金1件)  
 貸付金額 800,000円

### 3 共同募金関係事業

- (1) 栃木県共同募金会壬生町支会の事務を担当

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額	5,454,000円
実績額	5,295,700円
(内訳)	
自治会（戸別募金）	4,257,607円
街頭募金	23,271円
法人募金（326法人）	794,800円
学校募金	115,731円
職域募金	19,206円
イベント募金	5,778円
篤志募金	61,932円
その他の募金	17,352円
利息	23円

- (2) 赤い羽根共同募金配分金事業の実施

①被災世帯に対する支援、見舞金支給（火災）8件

②地域福祉推進事業費補助事業の実施

小学校8校 計490,000円

③健康ふくしまつりの共催及び実行委員会への助成

実施日 令和元年10月27日（日）

会場 壬生町保健福祉センター

主催者 壬生町健康ふくしまつり実行委員会

参加者数 約2,500名 協力団体・企業数 54団体

④壬生町ボランティア連絡協議会への活動費の助成 150,000円

⑤手話奉仕員養成講座（栃木市社協委託）開催周知に協力した。

開催 4月17日から3月11日まで（全45回）

開催場所 栃木市保健福祉センター

参加人数 町内参加者1名

⑥傾聴ボランティア養成講座の開催

開催 6月15日、6月22日、7月6日（全3回）

開催場所 壬生町保健福祉センター

参加人数 延べ参加者数71名

⑦民生委員・児童委員協議会の運営費の一部助成を行う。 72,000円

⑧のぼり旗を使用した募金配分事業の広報活動（お達者サロン等）

- (3) 障がい者福祉活動

あじさいサロン（障がい者サロン）

開催 5月18日から2月15日まで（10回）

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 障がい者の社会参加のきっかけ作りと生きがい作りとして、ボランティアの協力を得ながらスポーツレクリエーション等を行う。

参加人数 延べ190名（延べボランティア82名）

### 4 資金貸付事業

- (1) 社会福祉金庫相談件数211件、新規貸付17件 貸付金額542,000円  
 全額償還9件 償還金額569,400円（過年度分を含む。)

## 5 居宅介護支援事業

### (1) 居宅介護支援事業の実施

介護サービス（ケアプラン）作成及び見直し並びに介護サービスに係わる連絡及び調整

給付管理実績（年間総件数）

区 分	令和元年度	平成30年度
要介護1	60	42
要介護2	89	114
要介護3	78	86
要介護4	23	32
要介護5	23	13
計	273	287

### (2) 介護予防支援受託事業

包括支援センターからの委託を受け、介護予防サービス・支援計画書の作成受託件数（年間総件数）

区 分	令和元年度	平成30年度
要支援1	15	0
要支援2	16	12
計	31	12

## 6 訪問介護事業

### (1) 訪問介護事業

食事・オムツ交換等の身体介護及び調理・掃除等の生活支援サービスを行う。

利用実績（月平均）

区 分		令和元年度			平成30年度		
延べ契約者数		13			15		
要介護区分		利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
実 利 用 者 数	要介護1	3	36	35	8	113	102
	要介護2	1	12	11	2	10	10
	要介護3	1	7	7	0	0	0
	要介護4	1	28	32	1	14	14
	要介護5	1	24	35	1	2	2
	計	7	106	120	12	139	128

(2) ホームヘルプ事業（介護保険法外援助） 月平均 1名

(3) 高齢者生活支援ホームヘルプ事業の実施（受託事業）契約者数4名 延べ利用回数 101回

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号事業

利用実績（月平均）

区 分		令和元年度			平成30年度		
延べ契約者数		18			16		
要介護区分		利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
者 実 利 用	要支援1	8	41	41	5	21	21
	要支援2	7	54	54	6	45	47
	計	15	95	95	11	66	68

## 7 居宅介護等事業（障害福祉サービス）

### (1) 居宅介護等事業

障がいを持つ方に対し、ホームヘルプサービスを行う。

利用実績（月平均）

区 分	令和元年度	平成30年度
延べ契約者数	14	15

障がい区分	利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
身体障がい者	4	136	176	3	106	133
知的障がい者	1	10	11	1	4	5
精神障がい者	4	24	32	6	46	54
重度障がい者	1	69	126	2	92	172
計	10	268	345	12	248	364

- (2) 養育支援事業(受託事業) 契約者数 1名  
(3) 移動支援事業(受託事業) 契約者数 4名 延べ利用回数 93回

## 8 相談支援事業

### (1) 特定相談支援事業

障がいを持つ大人の方に対し、相談・サービス等利用計画の作成を行う。

区分	令和元年度	平成30年度
利用計画作成数	45	44
モニタリング回数	55	88

### (2) 障害児相談支援事業

障がいを持つ児童に対し、相談・サービス等利用計画の作成を行う。

区分	令和元年度	平成30年度
利用計画作成数	97	68
モニタリング回数	104	136

## 9 就労支援施設「むつみの森」の管理経営(指定管理者)

障がいを持つ人の自立と社会参加に向けて、その健康状態と健全な生活習慣の確立を支援することにより社会性の向上に努め、職業習得に必要な作業訓練及び就労支援活動を行った。

### (1) 就労移行支援事業 利用者 1名

支援内容 ハローワークへの同行、合同面接会への参加、マナー講習会を行う。  
就労支援の実施、就労後の定着支援の実施、企業実習の実施

### (2) 就労継続支援B型 利用者 23名

①作業訓練等を行う(室内作業17件、ペットボトル圧縮処理梱包作業 1人当たり平均月額工賃 18,624円)

#### ②自主生産事業を行う。

ジャム(苺、ブルーベリー、りんご、ゆず、トマト、ルバーブ、にんじん、なし、キウイ、苺とトマトのミックス)の製造、販売

「パンの缶詰」(相手先商標製造)の販売

花苗の栽培、販売(春・秋)

布製品の製作・販売

「アイロンビーズ」(とちまるくん、ぶじカエル等)の製作・販売

③ふるさと応援記念品(いちご梱包発送作業) 466件

④地域交流、社会参加支援事業を行う(イベント出張販売、日帰り及び一泊研修事業、県障害者スポーツ大会、日産労連クリスマスチャリティ公演招待等)

⑤職場体験、実習受入等を行う。

町内小中学校視察及び職場体験(獨協医科大学医学部及び看護学部実習、特別支援学校生徒施設見学及び実習等)

## 10 日中一時支援事業

### (1) 日中一時支援事業の実施

日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援事業を行う。

登録利用者数 22名 利用回数 延べ1,819回



## 11 こども発達支援センター「ドリームキッズ」の管理経営（指定管理者）

子どもたち一人ひとりが人として豊かに生きる力、生きていこうとする力を獲得できるよう、障がいの状態や特性に応じた適切な活動を実施し、自己能力の発達に向けた療育を行う。利用者39名（児童発達支援事業23名、放課後等デイサービス事業16名）

(1) 小集団による療育及び個別指導を行う。

①延べ利用数2,408名（児童発達支援事業887名、放課後等デイサービス事業1,521名）

②専門指導療育（言語療法8回、作業療法3回、音楽療法8回、臨床心理士8回）を行う。

③保育所等訪問支援事業（3回）を行う。

④地域交流、社会参加支援事業を行う。ドリームタイム（奇数月の第3土曜日に一般児童への開放）と相談、園外療育、クリスマス会、夏まつり等

## 12 放課後児童健全育成事業（新規）

放課後や夏休みなどの長期休みに両親が共働きなどで、日中保護者が家庭にいない小学生児童を対象として、保護者に代わって保育する。

① 児童が宿題・自習等の学習活動を自主的に行える環境を整え、必要な援助を行う。

② 基本的な生活習慣についての援助、自立に向けた支援を行う。

実施場所：壬生小学校 正会員65名 長期休暇会員22名

羽生田小学校 正会員1名 臨時会員10名

## 13 収益を目的とする事業の実施

(1) 自主財源を確保し、社会福祉事業を推進する目的で、次の収益事業を行う。

①黒川の里ふれあいプール売店の運営委託

営業期間 令和元年7月13日から7月15日、7月20日から9月1日  
軽食及び水泳用品等の販売を行う。

年間プールの延べ利用人数 46,330名（参考）

②印紙売りさばき、郵便切手販売を行う。 役場 11件  
関係団体等 13件

## 14 日本赤十字社への協力

(1) 日本赤十字社栃木県支部壬生町分区の事務を担当（町からの事務委任）

(2) 日本赤十字社募金運動（6月）

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額 4,245,000円

実績額 4,062,635円

（内訳）

自治会（戸別募金） 4,059,529円

消防交通フェスティバル募金箱 3,106円

(3) 日本赤十字社交付金事業の実施

①被災世帯に対する支援 8件（毛布11枚、布団11組、救急セット3個）

②台風19号災害支援（町内避難所3ヶ所に毛布800枚）

③赤十字救急法等講習会の開催

実施日 令和元年6月21日

会場 壬生町保健福祉センター

内容 災害時の高齢者の生活支援について

参加人数 74名（民生委員児童委員協議会）

実施日 令和元年7月5日

会場 壬生町保健福祉センター

内 容 小学生への応急手当、子どもの病気の特徴、発熱・痙攣の手当  
参加人数 24名（町内学童支援員）

実施日 令和元年9月19日  
会 場 壬生町保健福祉センター  
内 容 止血・包帯の方法  
参加人数 33名（乳幼児13名、保護者20名）

④日赤防災セミナーの開催

実施日 令和元年10月6日  
会 場 南犬飼公民館  
内 容 災害図上訓練（DIG）  
参加人数 48名（安塚地区コミュニティ推進協議会会員）

実施日 令和2年1月25日  
会 場 地域密着型特別老人ホームしもつけ荘 地域交流サロン  
内 容 災害への備えについての講話  
参加人数 36名（家族介護者教室参加者）

実施日 令和2年2月16日  
会 場 安塚地区コミュニティセンター  
内 容 日本赤十字社の紹介、災害への備えについての講話、炊出し訓練  
等

参加人数 40名（安塚三自治会会員）

⑤赤十字周知活動紹介 町消防交通フェスティバル等 3件

⑥ボランティアスクール（育成会、ハートふるる）の共催

⑦青少年赤十字活動費の助成 中学校2校、高校1校 計135,000円

(4) 壬生町赤十字奉仕団の活動援助を行う。 団員45名

(5) 災害義援金等の受入・協力

①災害義援金、救援金の受入

・令和元年台風19号災害義援金	34件	573,258円
・令和元年台風15号東京都義援金		
・令和元年台風15年度千葉県災害義援金	8件	39,755円
・令和元年8月豪雨災害義援金	5件	11,191円
・平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	2件	2,513円
・平成30年7月豪雨災害義援金		
・平成29年7月5日からの大雨災害義援金		
・平成28年熊本地震災害義援金		
・東日本大震災義援金	1件	1,000円
・中東人道危機救援金		